

1. 基本理念（案） ※目指す姿

案1 景観特性から考えられる基本理念

そうほう
ふらの双峰にいだかれた 田園共生都市
※ふらの双峰…大雪山十勝岳連峰と夕張山地芦別岳を表現した造語

- 富良野市中心部からも見える大雪山十勝岳連峰や夕張山地芦別岳の双峰(そうほう)は、富良野市の景観を形成する骨格であり、市民のシンボルです。
- 山林や丘陵部といった地形や、空知川などの自然環境が人々の暮らしの背景となり、みどり豊かなまちの印象を創り出しています。
- その豊かな景観に惹かれ、市外からもたくさんの人々が訪れています。
- 富良野圏域の中でも中心のまちとして、持続的な景観づくりにより美しい景観を引き継ぐことで、田園共生都市を目指します。

案2 景観のマネジメントの視点を入れた基本理念

みねみね
峰々の自然と営みが共生する みどりの国際都市

- 富良野市の景観は、大雪山十勝岳連峰や夕張山地芦別岳の地形が大きな礎を築きました。そのうえに空知川が大地を整え、森林をはじめとした自然環境が富良野市の景観の骨格をつくり上げました。
- やがて人々は自然の恵みを活かした農業や生業によって生活を豊かなものとし、暮らしの営みの中で歴史や文化が積み重ねられ、美しい景観に磨きが掛けられてきました。
- 今では国内だけでなく諸外国からも美しい景観のまちとして知られるまでとなり、人々が磨き上げてきた富良野市の景観を高い水準で引き継いでいくことが必要です。
- 自然環境が築いた骨格の上に暮らしの営みがつくり上げた富良野市の景観を受け継ぎ、市民のほか多様な人々の交流を生み出すみどりの国際都市を目指します。

2. 基本方針（案）

1. 山並みのみどりや空知川などの自然環境を大切に した景観づくり

- 富良野市を囲む大雪山十勝岳連峰や夕張山地芦別岳などの山々や丘陵地や樹海の樹林、市内を流れる空知川は、富良野市のみどり豊かな景観を創り出す重要な要素であり、市内の小中学校の校歌にも謳われており、市民にとってふるさとの風景のひとつとなっています。
- このような富良野市において重要な要素である自然環境を生かした景観づくりを図ります。

→ 森林景観
エリア

2. 東西の峰々を背景にした美しい市街地景観づくり

- 大雪山十勝岳連峰や夕張山地芦別岳などの山々や丘陵部の樹林を背景にコンパクトに形成されている富良野市の市街地は、富良野市の顔であり、すでに景観づくりが進められています。
- 今後も増加が予想される来訪者に富良野市の良好なイメージを持ってもらえるようにするとともに、市民の誇りと愛着の醸成につながるように、統一感のある美しい市街地景観づくりを積極的に進めます。

→ 市街地景
観エリア

3. 地区ごとの特徴を生かした田園景 観づくり

- 広域でとらえた場合に、美瑛町や上富良野町、中富良野町は丘陵地形の田園景観となっているのに対して、富良野市の田園景観は、丘陵部の樹木や山並みに囲まれたグリッド状の広がりのある農地となっており、広がりともとまりを感じる田園景観が特徴です。
- また、丘陵地の学田地区にはぶどう畑が見られ、東山地区には高く積みあがった小麦の棒積み（ニオ）が見られるなど、地区ごとに特徴ある豊かな田園景観が存在します。
- 富良野市の地区ごとに特徴ある田園景観の保全・活用を図ります。

→ 田園景観
エリア

4. 芦別岳の雄大な自然と調和する みどり豊かなりゾート景観づくり

- 来訪者が多く訪れる北の峰地区には、背景の山並みや樹林のみどりの景観を大切にしながら、自然と街並みが調和する整った景観づくりを進めます。
- また、芦別岳中腹の北の峰地区から見下ろす、整った市街地景観や四季折々の彩りある田園景観の眺望の保全・活用を図ります。

→ 北の峰景
観エリア

5. 富良野市を中心に 広域につながる 沿道景観づくり

- 広域につながる国道38号や国道237号の幹線道路からの眺めは、富良野市を印象づける景観です。
- 特に、美瑛地域とつながる国道38号は、大雪連峰を背景にした美しい田園景観となっており、観光資源にもなっている景観です。
- 幹線道路からの眺めに配慮しつつ、沿道景観を整えて富良野市および広域観光エリアとしての印象を高めるようにします。

→ 沿道景観
エリア

3. 景観計画の区域

- 基本理念・基本方針に基づいた景観づくりを進めるため、景観計画の対象区域は、富良野市全域とすることが考えられます。
- 富良野市の景観づくりは5つのエリアに分けて考えることができます。

